

【今回変更案】

茶山園地 実施計画（案）

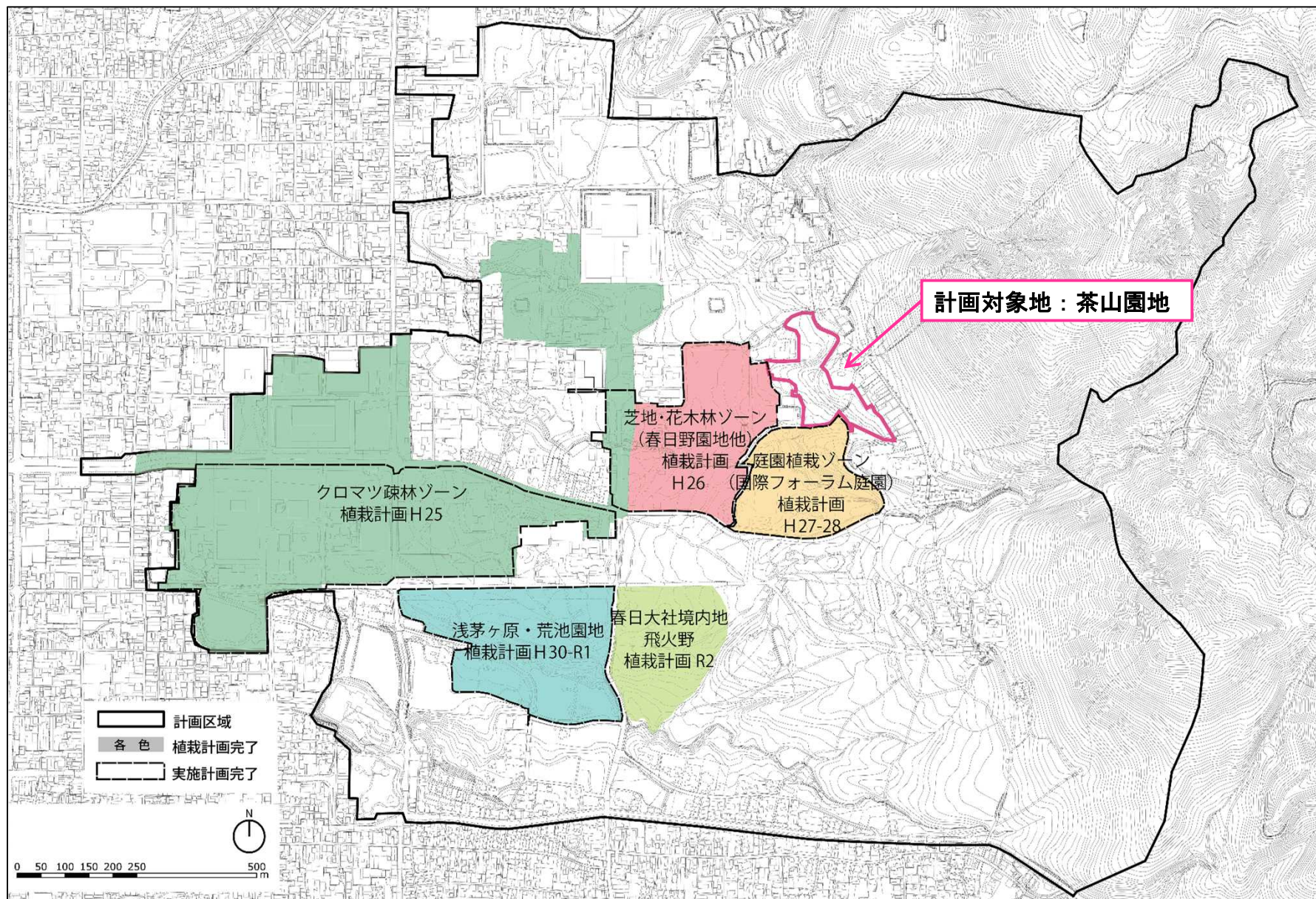
※令和6年度 区域変更ならびに病理検査結果等を踏まえた変更案。

※主な変更箇所は、 または赤文字で示すとともに、各ページの右上に★マークを表示

目 次

本計画の検討範囲	3
1. 上位計画	
(1) 基本的な考え方	5
(2) 計画方針	6
(3) 計画目標	7
2. 主要課題の検討	
(1) サクラ林に関する検討	9
1) サクラ類の生育改善	10
2) サクラ林の景観改善	17
3) 配植の考え方	20
(2) 若草山への眺望保全の検討	21
(3) 斜面地の土壌流亡の対策検討...	24
3. 整備方針	
(1) 整備段階の区分	28
(2) 各ゾーンの整備方針	29
4. 整備計画	
(1) 高木伐採(除却)・剪定	38
(2) サクラ類の補植・病害対策	39
(3) カシ類・ 低木 補植	40

本計画の検討範囲



図：計画の検討範囲および進捗状況

1. 上位計画

1. 上位計画

(1) 基本的な考え方

茶山園地植栽計画より抽出

「サクラと眺望を楽しみつつ若草山に向かう場として、 植栽・景観を保全・継承する。」

計画対象地の植栽・景観は、各ゾーンそれぞれに特徴があるが、奈良公園の中でも特に大きく生育したナラノヤエザクラ等が主体となったサクラ林と、若草山に向かう歩行者のメイン園路等から楽しむ景色や眺望は、奈良公園の魅力を高める主要な要素である。
本計画では、この魅力を活かした植栽・景観を保全・継承するため、次の2つの主要課題に取り組む。

主要課題1：サクラ林の景観演出

●サクラ林の景観の改善

西側スロープから見た北斜面をはじめ、様々なところで、生長した樹木によりサクラ林への見通しが阻害されているため、阻害樹木を伐採・剪定する。

●サクラ類の生育環境の改善

ナラノヤエザクラ等は、植栽後40～50年経過したものに近年風倒、樹勢の衰退が多い。日照の阻害や表土流亡が見られるため、これらの改善により健全な育成を図る必要がある。

●サクラ見本園と連続したサクラの景の演出

尾根の自然林ゾーンの裸地部にサクラ類を植栽し、春日野園地のサクラ見本園から、連続したサクラの景を演出する。

主要課題2：若草山や生駒山系等への眺望確保

●生駒山系等への眺望確保

花見ができるサクラ林ゾーンや山麓道から生駒山系への眺望は、生長した樹木に阻害されているため、阻害樹木を伐採・剪定する。

●若草山が見え隠れする眺望の保全

計画対象地のメイン園路は、若草山山麓に向かう主要動線であるが、生長した樹木に阻害され、若草山への眺望が阻害されているため、阻害樹木を伐採・剪定する。

阻害している樹木の中には、保全・継承すべき大径木も多く含まれることから、対策が比較的容易な地点を優先して対策を行い、見え隠れする若草山の眺望景観を保全する。

1. 上位計画

(2) 計画方針

茶山園地植栽計画より抽出

計画方針：ナラノヤエザクラ等を中心としたサクラ林を活かし、サクラと眺望を楽しみつつ、若草山に向かう場所として、植栽・景観を保全・継承する。

- ・サクラを楽しむ場として、ナラノヤエザクラ等を中心とした植栽・景観を保全・継承する。
- ・若草山や生駒山系等への景観資源を活用する。

山麓道沿いモミジ林ゾーン

- ・イロハモミジが主体となった植栽・景観を保全・継承する。
- ・花見ができるサクラ林ゾーンから生駒山系への眺望に配慮する。
- ・花見ができるサクラ林ゾーンのサクラへの見通しを改善する。

尾根の自然林ゾーン

- ・ナンキンハゼを駆除する。
- ・春日野園地のサクラ見本園から連続したサクラの景とする。

手向山神社の社叢ゾーン

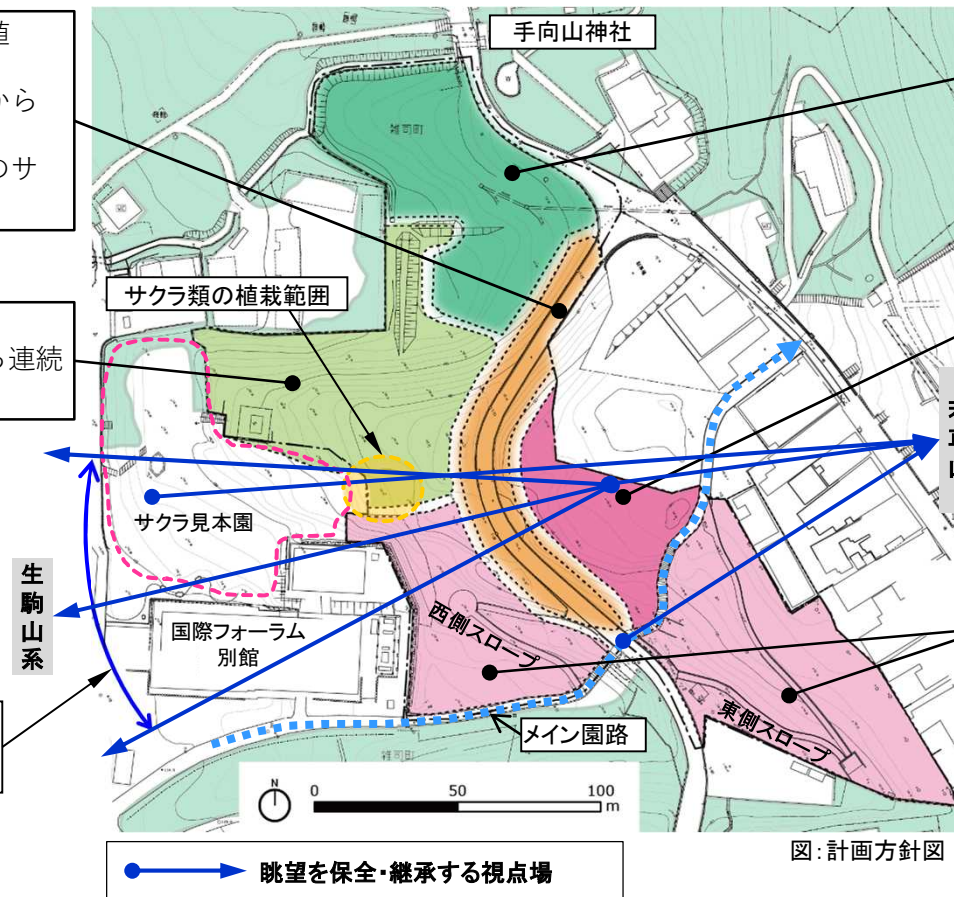
- ・手向山神社との調和に配慮し、社叢の樹林・景観を保全・継承する。

花見ができるサクラ林ゾーン

- ・サクラ類の生育環境を改善し、滞留に適した平坦部のサクラ林を保全・継承する。
- ・生駒山系への眺望を確保する。
- ・若草山への眺望を保全・継承する。

スロープ沿いサクラ林ゾーン

- ・サクラ類を保全・継承する。
- ・サクラ類の生育環境を改善する。
- ・大径木のモミヤクスは原則として保全・継承する。
- ・若草山への眺望を改善する。
- ・西側スロープから斜面上部への見通しを改善する。
- ・民地沿い緩衝林は、若草山への眺望と民地への緩衝を両立する。



図：計画方針図

1. 上位計画

(3) 計画目標

茶山園地植栽計画より抽出

尾根の自然林

- ・ナンキンハゼは、全て伐採し、イチイガシ、モミ、ケヤキ、エノキ等を補植する。
- ・明るく開けた場所には、サクラ類を植栽する。

山麓道沿い

- ・イロハモミジを保全・継承する。
- ・サクラ類の日照や見通しを阻害する樹木を伐採、剪定する。
- ・表土流失を改善する。

平坦部のサクラ林

- ・サクラ類を保全・継承する。
- ・平坦部の排水性の保持に留意する。
- ・若草山への眺望を保全・継承する。
- ・生駒山系への眺望確保のため、阻害樹木を伐採、剪定する。

西側スロープのサクラ林

- ・サクラ類を保全・継承する。
- ・表土流失を改善する。
- ・北斜面のサクラ類への視線の見通しを確保するため、阻害している樹木を伐採、剪定する。
- ・若草山への眺望を改善する。

柵内

- ・アカマツ等を保全・継承する。

東側スロープのサクラ林

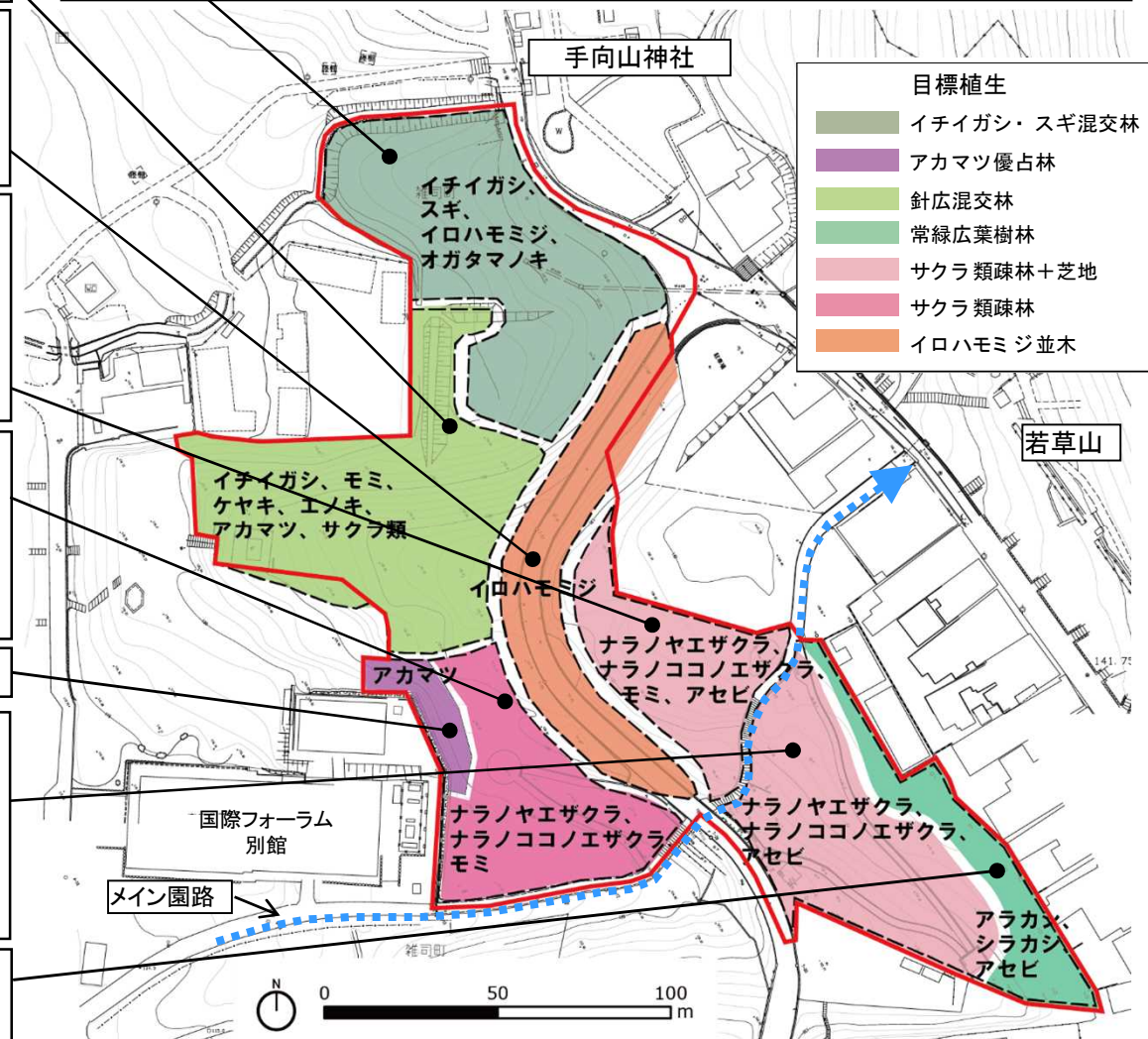
- ・サクラ類を保全・継承する。
- ・表土流失を改善する。
- ・大径木のモミやクスは原則保全・継承する。
- ・横断歩道付近から、若草山を部分的に視認できるよう、伐採、剪定する。

民地沿いの緩衝林

- ・生長した樹木の密度を下げ、民地の建物前にアセビ等を補植することで、民地への緩衝と、若草山の眺望を両立する。

手向山神社の社叢

- ・手向山神社に関わりのある樹種（スギ、イロハモミジ、オガタマノキ）を保全・継承し、後継種（スギ、イロハモミジなど）を補植する。
- ・社叢にふさわしくない樹種（イチョウ、イヌガシ）を伐採する。



注：図中の樹種は主要樹木を示す。

図：目標植生図